

愛知東邦大学 シラバス

開講年度 (Year)	2024年度	開講期 (Semester)	前期
授業科目名 (Course name)	世界史		
担当者 (Instructors)	飯尾 圭司	配当年次 (Dividend year)	1
単位数 (Credits)	2	必修・選択 (Required / selection)	選択

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)			
<p>今日のグローバル社会で生きてゆくためには、世界の諸地域がいかなる歴史を歩んできたのか、そして、現代の国際社会がいかにして形成されたのかを理解することが求められる。こうした歴史認識は、円滑な異文化コミュニケーションに資するのみならず、現在の社会が抱えている課題を認識し、解決することにもつながろう。以上の点を踏まえ、本授業は、近代的な国際秩序の成立という観点から、とりわけ「中世」から「近代」への展開に焦点を当てつつ、世界の歴史を概観してゆく。本授業を通じて、近代的な国際社会がいかに形成されてきたのか、そして、その形成過程でいかなる諸問題が生じてきたのかについて、主体的な分析・判断に基づき、自身の言葉で説明・表現できるようにすることが期待される。</p>			

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)	
授業形態 (Class form)	講義
授業の方法 (Class method)	<p>本授業は講義形式で行う。テキストについては、授業プリントを配布する。毎回、疑問点や感想を記入したリアクションペーパーを提出してもらい、次回授業でそのフィードバックを行う。これにより、授業の双方向性を確保する。また、講義内容と関連する動画を授業で流すことで、ビジュアル的に世界史に関する興味・関心を深めてもらう（※著作権の関係上、対面授業でのみ）。</p>

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)			
回数 (Num)	テーマ (Theme)	内容 (Contents)	メディア区分 (Media)
第1回	イントロダクション	授業内容の説明、「世界史」を学ぶことの意義	<input type="checkbox"/>
第2回	「古代」から「中世」へ	西ローマ帝国の滅亡と中世世界の成立	<input type="checkbox"/>
第3回	西ヨーロッパ世界の誕生	ローマ・カトリックを核とする「西ヨーロッパ世界」の形成	<input type="checkbox"/>
第4回	西ヨーロッパ世界の拡大	異民族（ヴァイキング、イスラーム勢力）の西ヨーロッパ侵入、異教世界へのローマ・カトリック布教による西ヨーロッパ世界の拡大	<input type="checkbox"/>
第5回	中世盛期・末期の社会	中世盛期・末期の農村・都市のあり方、黒死病（ペスト）の流行と社会への影響	<input type="checkbox"/>
第6回	騎士道理念と中世文化	騎士道理念の誕生、大学の成立など中世の知的文化の隆盛	<input type="checkbox"/>
第7回	百年戦争とバラ戦争	中世盛期・末期の英仏、百年戦争の原因と影響、バラ戦争と中世の終焉	<input type="checkbox"/>
第8回	「近世」の幕開け	時代の転換点としての15世紀、活版印刷、イタリア戦争と中世的権威の失墜	<input type="checkbox"/>
第9回	宗教改革	プロテスタント宗教改革、カトリックによる改革、イギリスの「政治的」宗教改革	<input type="checkbox"/>
第10回	ウェストファリア体制の成立	三十年戦争、主権国家体制の成立およびその歴史的意義	<input type="checkbox"/>
第11回	消費社会と公共圏	消費社会の誕生、情報の商品化と出版メディア、公共圏と市民社会	<input type="checkbox"/>
第12回	啓蒙	「啓蒙」とは、博物学 (natural history)	<input type="checkbox"/>
第13回	「啓蒙」とアメリカ独立革命	「近世」の総括としてのアメリカ独立革命	<input type="checkbox"/>
第14回	世界経済システム	ヨーロッパを中核として世界システムの成立	<input type="checkbox"/>
第15回	「近代社会」の形成	授業のまとめ、「近代社会」はいかに形成されたか	<input type="checkbox"/>

■ 授業時間外学習（予習・復習）の内容 (Preparation/review details)	
<p>予習：下記参考図書や授業で提示する文献を読むなどして、授業の前提となる背景知識・各時代の特徴を大まかに把握しておく（2時間程度）。復習：講義内容を自身のことばでまとめる。授業で興味を持った事柄、あるいは疑問に思った事柄について調べ、主体的に知見を深める（2時間程度）。</p>	

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回、疑問点や感想を記入したリアクションペーパーを提出してもらう。次回授業で時間を確保し、そこでフィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	「近代社会」の特質がどのようなものかについて、そしてそうした「近代社会」がどのように成立したかについて、自身のことばで説明できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
100%				

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし (プリントを配布します)	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	近藤和彦編『西洋世界の歴史』(山川出版社、1999年)。	9784634645400
2	服部良久ほか編『大学で学ぶ西洋史 [古代・中世]』(ミネルヴァ書房、2006年)。	9784623045921
3	小山哲ほか編『大学で学ぶ西洋史 [近現代]』(ミネルヴァ書房、2011年)。	9784623059386
4		
5		